

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミⅡ	チーム名	HITOY
タイトル	どうする日本の観光 - 今後の日本の観光戦略の在り方 -		
テーマ群	g) その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>「研究背景」</p> <p>安倍政権がアベノミクスの重要な政策の一つとして外国人観光客の集客に力を入れていたことから分かるように、近年の日本ではインバウンド産業が重要になってきている。しかし新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で訪日外国人は激減してしまった。このことから我々は COVID-19 が日本の観光業にどのくらいの影響を及ぼしたのか、また訪日外国人観光客数をコロナ騒動以前の水準に戻すには何をすべきか、そして仮に戻ったとしても、これまでと同じ戦略で訪日外国人観光客数を戻して大丈夫なのかを研究したいと考えた。</p> <p>「研究内容」</p> <p>まず初めに(1)観光客数の推移を調べコロナ以前・以後とで比較をする。次に(2)コロナ収束後に訪日外国人観光客数をコロナ以前の水準以上に呼び込む方法を考える。だが、コロナ以前のサービス提供体制のもとでは、観光客が増加した場合に同じ質のサービスを提供出来ないなど、質の持続可能性が難しいという問題が生じていた。よってこの問題の対策を考えて、(3)観光客数が少ない現在だからこそできる対策がないのかを検討する。対策を検討した上で今後日本の観光の将来性を考えていく。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>現在の日本の観光の現状を分析し、今後の日本の観光のあり方を検討することで、(1)日本にとって重要になっている戦略産業を考えることができる。また観光産業は地方創生に繋がる可能性を秘めている。つまり観光の研究をすることで(2)地方創生問題についても考えることができる。よって観光業の在り方を分析することにより、日本の将来性を検討することができる。</p>		